

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成23年5月6日 (2011.5.6)

【公開番号】特開2009-229924(P2009-229924A)

【公開日】平成21年10月8日 (2009.10.8)

【年通号数】公開・登録公報2009-040

【出願番号】特願2008-76623(P2008-76623)

【国際特許分類】

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/74 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 5/00 5 5 0 D

G 0 9 G 5/00 5 1 0 B

G 0 3 B 21/00 D

G 0 9 G 5/00 5 5 5 D

H 0 4 N 5/74 Z

G 0 9 G 3/20 6 8 0 C

G 0 9 G 3/20 6 7 0 D

G 0 9 G 3/20 6 1 2 S

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月18日 (2011.3.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像信号を出力する外部機器を接続し、該外部機器が出力する画像信号を入力すると共に、該外部機器との間で各種制御情報を入出力する接続手段と、

上記接続手段を介して上記外部接続機器から入力される画像信号に対応した光像を形成し、形成した光像を投影対象に向けて投影する投影手段と、

上記接続手段を介して上記外部機器から画像信号の入力開始を予告する制御情報を入力した時点で、上記投影手段が投影可能な状態であるか否かを判断する判断手段と、

上記判断手段で上記投影手段が投影可能な状態ではないと判断した場合、上記投影手段が投影可能な状態となるまで待機し、投影可能な状態となった時点で上記外部機器に対して画像信号の出力を要求する制御情報を上記接続手段を介して出力させる投影制御手段とを具備したことを特徴とする投影装置。

【請求項 2】

上記投影制御手段は、上記外部機器に対して、上記投影可能となるまでの時間を示す情報を出力することを特徴とする請求項 1 記載の投影装置。

【請求項 3】

上記投影制御手段は、上記外部機器に対して、上記時間を示す情報の表示を要求する信号を出力することを特徴とする請求項 2 記載の投影装置。

【請求項 4】

上記投影制御手段は、上記判断手段で上記投影手段が投影可能な状態ではないと判断し

た場合、上記投影手段が投影可能な状態となるまでの間、上記外部機器に対して、画像信号の出力の延期を要求する制御情報~~を出力~~することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項記載の投影装置。

【請求項 5】

上記投影制御手段は、上記投影手段が投影可能な状態となるまで待機している間、投影可能となるまでの時間を示す画像を上記投影手段により投影させることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか一項記載の投影装置。

【請求項 6】

上記投影手段の温度を検出する温度検出手段をさらに備え、

上記投影可能になるまでの時間を示す情報は、上記温度検出手段によって検出された温度によって算出されることを特徴とする請求項 2 乃至 5 のいずれか一項記載の投影装置。

【請求項 7】

画像信号を出力する外部機器を接続し、該外部機器が出力する画像信号を入力する接続部と、上記接続部を介して上記外部接続機器から入力される画像信号に対応した光像を形成し、形成した光像を投影対象に向けて投影する投影部とを備える投影装置での投影方法であって、

上記接続部により該外部機器との間で各種制御情報を入出力する接続制御工程と、

上記接続部を介して上記接続制御工程により上記外部機器から画像信号の入力開始を予告する制御情報を入力した時点で、上記投影手段が投影可能な状態であるか否かを判断する判断工程と、

上記判断工程で上記投影手段が投影可能な状態ではないと判断した場合、上記投影部が投影可能な状態となるまで待機し、投影可能な状態となった時点で上記接続制御工程により上記外部機器に対して画像信号の出力を要求する制御情報を上記接続手段を介して出力させる投影制御工程と

を有したことを特徴とする投影方法。

【請求項 8】

画像信号を出力する外部機器を接続し、該外部機器が出力する画像信号を入力する接続部と、上記接続部を介して上記外部接続機器から入力される画像信号に対応した光像を形成し、形成した光像を投影対象に向けて投影する投影部とを備える投影装置が内蔵するコンピュータが実行するプログラムであって、

上記接続部により該外部機器との間で各種制御情報を入出力する接続制御ステップと、

上記接続手段を介して上記接続制御ステップにより上記外部機器から画像信号の入力開始を予告する制御情報を入力した時点で、上記投影手段が投影可能な状態であるか否かを判断する判断ステップと、

上記判断ステップで上記投影手段が投影可能な状態ではないと判断した場合、上記投影部が投影可能な状態となるまで待機し、投影可能な状態となった時点で上記接続制御ステップにより上記外部機器に対して画像信号の出力を要求する制御情報を上記接続手段を介して出力させる投影制御ステップと

をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項 2 記載の発明は、上記請求項 1 記載の発明において、上記投影制御手段は、上記外部機器に対して、上記投影可能となるまでの時間を示す情報を出力することを特徴とする。

請求項 3 記載の発明は、上記請求項 2 記載の発明において、上記投影制御手段は、上記外部機器に対して、上記時間を示す情報の表示を要求する信号を出力することを特徴とす

る。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項 4 記載の発明は、上記請求項 1 乃至 3 のいずれか一項記載の発明において、

上記投影制御手段は、上記判断手段で上記投影手段が投影可能な状態ではないと判断した場合、上記投影手段が投影可能な状態となるまでの間、上記外部機器に対して、画像信号の出力の延期を要求する制御情報を出力することを特徴とする。

請求項 5 記載の発明は、上記請求項 1 乃至 4 のいずれか一項記載の発明において、上記投影制御手段は、上記投影手段が投影可能な状態となるまで待機している間、投影可能となるまでの時間を示す画像を上記投影手段により投影させることを特徴とする。

請求項 6 記載の発明は、上記請求項 2 乃至 5 のいずれか一項記載の発明において、上記投影手段の温度を検出する温度検出手段をさらに備え、上記投影可能になるまでの時間を示す情報は、上記温度検出手段によって検出された温度によって算出されることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項 7 記載の発明は、画像信号を出力する外部機器を接続し、該外部機器が出力する画像信号を入力する接続部と、上記接続部を介して上記外部接続機器から入力される画像信号に対応した光像を形成し、形成した光像を投影対象に向けて投影する投影部とを備える投影装置での投影方法であって、上記接続部により該外部機器との間で各種制御情報を入出力する接続制御工程と、上記接続部を介して上記接続制御工程により上記外部機器から画像信号の入力開始を予告する制御情報を入力した時点で、上記投影手段が投影可能な状態であるか否かを判断する判断工程と、上記判断工程で上記投影手段が投影可能な状態ではないと判断した場合、上記投影部が投影可能な状態となるまで待機し、投影可能な状態となった時点で上記接続制御工程により上記外部機器に対して画像信号の出力を要求する制御情報を上記接続手段を介して出力させる投影制御工程とを有したことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項 8 記載の発明は、画像信号を出力する外部機器を接続し、該外部機器が出力する画像信号を入力する接続部と、上記接続部を介して上記外部接続機器から入力される画像信号に対応した光像を形成し、形成した光像を投影対象に向けて投影する投影部とを備える投影装置が内蔵するコンピュータが実行するプログラムであって、上記接続部により該外部機器との間で各種制御情報を入出力する接続制御ステップと、上記接続手段を介して上記接続制御ステップにより上記外部機器から画像信号の入力開始を予告する制御情報を入力した時点で、上記投影手段が投影可能な状態であるか否かを判断する判断ステップと、上記判断ステップで上記投影手段が投影可能な状態ではないと判断した場合、上記投影部が投影可能な状態となるまで待機し、投影可能な状態となった時点で上記接続制御ステ

ップにより上記外部機器に対して画像信号の出力を要求する制御情報を上記接続手段を介して出力させる投影制御ステップとをコンピュータに実行させることを特徴とする。